

社会科

1 令和6年度大田区学習効果測定結果の分析

(1) 全体的に見た分析結果

正答率は、5年生は目標値と同程度であり、学習状況は概ね良好である。4・6年生は目標値を上回っており、学習状況は良好といえる。

(2) 観点別に見た目標値との比較

知識・技能

4・5年生の正答率は、目標値と同程度であり、学習状況は概ね良好である。6年生の正答率は、目標値を上回っているため、学習状況は良好といえる。

思考・判断・表現

正答率については、どの学年とも目標値を上回っており、学習状況は良好といえる。

主体的に学習に取り組む態度

5年生の正答率は、目標値を大きく上回っており、4・6年生とも目標値を上回っており、主体的に学習に取り組む態度が身に付いているといえる。

2 昨年度の授業改善推進プランの検証 【成果（○）と課題（●）】

知識・技能

○高学年は問題解決的な学習を中心にした授業展開を重視し、学習内容を定着させることができた。

●高学年は社会的事象について、示されている写真や年表などの資料を正しい視点で読み取ることに課題がある。そのため、資料を読み取る視点を児童に理解させてから、読み取る活動を行う。また、社会科以外の教科でもグラフの見方などを指導する。

●中学年は問題解決的な学習や調査活動を行っているが、地図記号などの基本的な知識の定着に課題がある。そのため、ICTを活用した学習活動の工夫をしていく必要がある。

思考力・表現力・判断力等

○自分の考えを表す活動を取り入れることで、社会的な事象について考察し、表現する力が付いてきている。

●社会的事象について、示されている写真や年表などの資料を相互に関連付けて、考えたり、表現したりする学習には課題がある。

主体的に学習に取り組む態度

○問題解決的な学習を計画し、生活や経験に結び付けた振り返りを行うことで関心を高め、主体的に学習に取り組むことができた。

3 授業改善推進プラン

中学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地図記号や方位など、基本的な地図に関する知識を確実に身に付けさせるために、ICTを用いた反復学習や年間を通じて地図帳の活用をする。 ・社会科見学で調べたことや地図と写真、グラフなど複数の資料を関連付けながら読み取れるよう、資料を読み取るための視点を理解させてから活動できるようにする。 ・「わたしたちの大田区」では、身近な地域や区の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解できるよう、調査活動や具体的資料を用いた活動を設定する。 ・「わたしたちの東京」では、資料を基に東京都の地形や土地利用の様子などの地理的条件や伝統、世界とのつながりなどの視点をもって調べ、東京都の特徴について多面的に捉える活動を設定する。	・見学やインタビュー活動を通して分かった商店や工場で働く人の工夫や努力について、キーワードを用いて自分の言葉でノートやワークシートにまとめる活動を取り入れる。 ・つかませたい社会的事象を児童が自ら獲得できるようにスーパーマーケットや工場の見学、インタビュー活動等を行い、意見を交流し考えを表す活動を重視する。 ・社会的事象を比較したり関連付けたりする力を伸ばすために、スーパーマーケットや工場の工夫を調べる活動では、何のための工夫か考えたり、視点に沿って分類したりする活動を取り入れる。 ・学習のまとめでは、自分の生活と結び付けて、学習したことを表現できるように、基本的な用語を使いながら、新聞やポスターなど多様な方法で表現できるようにする。	・社会的な事柄に対して、写真資料や生活経験などを基に話し合い、単元の学習問題を考える活動を取り入れることで、主体的な学びに結び付けられるようにする。 ・火事や事故の防止、水の使い方、ごみ処理の仕方、災害時の行動などについて、単元の中で学習してきたことを活用し、生活の中で自分たちにできることについて考え、学習したことを実生活に結び付けられるようにする。 ・児童が関心をもったことやもっと調べたいことをすすんで調べ、学習を深めることができるようにインターネットの情報だけでなく、書籍なども準備する。
高学年		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・地図や地球儀を活用し、意図的に地名や土地の様子を調べたり、他教科での調べ学習をしたりすることで、地図の使い方の定着を図る。 ・農業、水産業、工業、情報産業、環境を守る仕事など、それぞれの分野で仕事に従事している人の工夫や努力について、写真や表、グラフなどの資料を基に理解できるようにする。 ・稲作や自動車生産など、実体験が伴わない事柄の学習については、農作業の手順や生産過程などの資料を並び替えたり、ICTを活用したりすることで知識の定着を図る。 ・基本的な用語を知識として定着させるために、それらを用いて毎時間学習感想を書いたり、単元のまとめをしたりする。	・資料集の想像図や絵画資料を読み取る際には、人々やものの様子、前の時代との変化等の視点をもたせ、意見を交流することで多面的な見方ができるようにする。 ・2つの資料を比較、関連しながら多面的に時代や事象の特徴を考えたり、表現したりする活動を取り入れる。 ・日本国憲法の精神や三権分立、選挙の仕組み、国連の機関や世界の国々等について、語句のみならず、図を活用してまとめる。 ・公民的資質の基礎を養うため、「選挙に必ず行って政治に参画する」「ユニセフ募金を通して国連事業について調べる」「世界遺産を守る」など具体的に自分ができることを考え、表現する場を設定する。	・課題提示の仕方や資料の工夫をすることで、社会的な事柄に対して問題意識や関心を高め、調べたいことを考え、自分の学習問題を立てられるようにする。 ・食糧生産や工業、産業の情報化については、単元のまとめで、学習したものとこれからの社会生活を結び付けて考えられるようにする。 ・公民的分野については、くらしと憲法や政治の仕組みがこれからの生活にどのように関わっていくのかを知り、自分の暮らしの中でどのように生かすことができるのかについて考える活動を設定する。 ・歴史的分野については、歴史上の人物の考え方や功績について考えたり現代の生活様式や文化と比較したりすることで、歴史上の事柄に対して主体的に自分の考えをもてるようにする。